

謹賀新年 今年こそ争いのない平和な世界が実現しますように

◀◀◀年頭のごあいさつ▶▶▶

社民フォーラムしもきた 代表 目 時 睦 男
改憲阻止と総選挙勝利に結束！

明けましておめでとうございます。昨年は地方統一選挙の県議選で立憲民主党が擁立できず保守系候補の独占を許し、続く市長選・知事選では宮下旋風が吹き荒れたものの、10月の市議選で杉浦候補の上位当選を果たすことができました。あらためて皆様のご支持、ご支援に御礼申し上げます。

一方では、国民生活は物価高騰、軍事費の増大と国民負担（医療・介護）の増大、政治の腐敗（政治資金）が吹き荒れ、岸田内閣と自民党の支持率が続落しているにもかかわらず、対抗軸の立憲民主党を初め野党の支持率低迷や労働界を見ていると危惧を抱きます。

こうした厳しい状況ですが、社民フォーラムの任務である国民の生命・財産を奪おうとする憲法改悪や原子力問題等の諸課題への取り組みの強化と年内には確実に行われるであろう総選挙戦の勝利にむけて、会員皆様のご協力をお願いし、年頭の挨拶といたします。



むつ市議会議員 杉 浦 弘 樹
市民生活目線で頑張ります！

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
日頃より、「すぎうらひろき」の活動に
対しまして、御理解と御協力を賜り、誠に
ありがとうございます。

昨年は、各種地方選挙が行われた年でありましたが、10月に施行されたむつ市議会議員選挙においては、皆様方からの多大なる御支援のおかげで、2期目の当選ができましたことに改めて感謝申し上げます。1期目は、新型コロナウイルス感染拡大というこれまで経験したことがない状況下で議員活動に制限があった任期でありましたが、2期目では今回の選挙で御支援いただいた皆様方や関係団体と積極的に意見交換等を行い、住民の暮らしや労働環境の整備に努めていく所存でございますので、御理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。

また、市議会の活動におきましても、これまで以上に住民の声に真摯に寄り添い、市政発展のため活動を行ってまいりますので、今年も引き続き御指導のほどよろしくお願い申し上げます。



HAPPY NEW YEAR 2024

旧年中は大変お世話になりました。
本年もよろしくお願いいたします。



社民フォーラムしもきた

代 表：目 時 睦 男
副 代 表：杉 山 鉄 雄
副 代 表：日 土 潤
事務局長：栗 橋 伸 夫
会計監査：大 泉 正 志

〜〜〜新春のつばやき〜〜〜

この国は2度悲劇を迎えなければ変らないのか

年の初めが震度7の地震、原発再稼働が噂される福井、石川、新潟と原発がひしめく地域だ。神様が原発立地地域を狙っているのではない。地震が頻発する地域に原発を建設しただけだ。

かつて、わが国はヒロシマの原爆に懲りず、ナガサキの原爆と2度の悲劇でようやく終戦を迎えた。

岸田政権は今また、フクシマの悲劇を忘れたかのように老朽原発再稼働を画策させ、原発大国復権を目指している。悲しいかな、この国は原子力災害はもういちど繰り返さないと教訓としないようだ。

原発銀座と揶揄される福井県では本年3月、ようやく北陸新幹線1997年以来27年目の開通だ。同じく原子力基地青森県も1987年の東北新幹線スタート以来、青森市まで延伸に23年を要した。新幹線延伸だけが地域の発展とは思わないが、これが原子力立地県に対する国家の仕打ちだ。

今年、わが故郷は使用済み核燃料受入れの正念場に差しかかるのだ。引き返すには今年しかない！



給食費無償化請願書、むつ市議会にて全会一致で採択されました

請願署名などでご協力をいただいたみなさまに感謝申し上げます

前月号でもお知らせしていましたが、「むつ市の学校給食無償化をめざす会」（向井宏治代表）による市内の小中学校の給食費無償化を求める請願書は650名を超える署名を添えて12月5日にむつ市議会へ提出されていました。

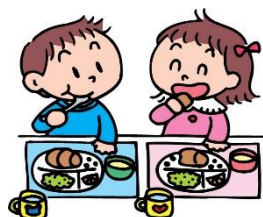
この請願は12月12日のむつ市議会総務教育常任委員会を確認され、本会議に付託されていましたが、同21日の議会最終日に全会一致で採択となりました。署名活動などにご協力をいただいたみなさまにお礼申し上げます。

しかし、具体的な無償化実施には当然、大きな費用を要することになります。文部科学省調査でも1年間にかかる平均的給食費は、公立小学校で約5万円、公立中学校で約5万6千円です。また、むつ市教育委員会の調査ではむつ市内の場合は約5

万8千円とされています。議会答弁でも年間2億4千万円程度とされています。そのため、本請願どおり直ちに新年度からの実施は難しいとされています。実現への道筋はまだまだ見通せません。みなさんの声で一日も早い実現を目指しましょう。

それにしても2022年の6月議会では同様の請願は3名（杉浦弘樹、工藤祥子、佐藤武議員）のみの賛成で少数否決となっていたことを考えれば、大きな違いです。しかし、こうした声が市政を変えていく大きな原動力となるのは確実です。

その背景には政府の「こども未来戦略方針」の大きなテーマの一つに給食費の無償化が検討素材となっていることがあります。少子高齢化対策やアベノミクス経済化で生活困難者が飛躍的に増加したことへの対応の現われと言えます。



【青森県内ですでに無償化が実現している自治体】

- 《東青地区》
- ・青森市
- ・平内町
- ・今別町
- 《中弘南地区》
- ・平川市
- ・大鰐町
- 《西北五地区》
- ・五所川原市
- ・鶴田町
- 《三八地区》
- ・五戸町
- ・新郷村
- ・南部町、
- 《上十三地区》
- ・七戸町
- ・おいらせ町
- ・東北町
- ・六ヶ所村
- ・横浜町

全会一致で採択された請願書

〔請願項目〕

- むつ市の学校給食を無償にすること。
- むつ市の学院給食を無償にするための予算を計上すること。

〔請願の趣旨〕

義務教育期の子どもがいる家庭の経済的負担は大きく、重い負担となっているものの1つが学校給食費です。学校給食は教育の一環であるとともに、子どもの健全な発達を支えるうえで重要な役割を果たしています（学校給食法第一条「児童及び生徒の心身の健全な発達に資するもの」）。

一方、むつ市教育委員会の調査（令2年3月市防災食育センター建設事業基本構想）によれば、保護者の一食当たりの負担額は308円であり、小中学校の平均的な給食供給日数約190日に乗ずれば58,520円が年間の保護者負担となっていました。令和5年度の給食を食している児童生徒は3,632名であり、一食当たりの負担額を約328円とすれば、学校給食無償化は約2億3千万円で実現できます。これは令和5年度のむつ市の予算約405億円の0.57%にあたります。令和6年度も、ほぼ同額で実現が見込まれます。

保護者が学校に払うお金の中で最も金額の大きいのが給食費です。給食費は子ども1人ひとりにかかるので、複数の子どもを持つ家庭では、負担はさらに大きくなります。

日本の子どもの貧困率は13.5%（2018年）で、OECD加盟国の中でも高く、特にひとり親家庭の相対的貧困率は48.1%にのぼります。「まともな食事は給食だけ」という貧困家庭の子どももあり、子どもの生命と健康を守る点でも、学校給食は大きな役割を果たしています。また令和4年3月むつ市子どもの貧困対策推進計画による調査でも明らかのように、貧困と孤食などの食事のとり方や授業理解度との相関関係も見過すわけにはいきません。

給食費の心配なく食べられるようにするためにも、保護者の給食費負担を軽減することが求められています。

青森県内でも16市町村で給食費の全額無償化、11市町村で一部補助するなど、6割以上の自治体が無償化を実現しています（2022年11月現在）。23年5月23日に執行されたむつ市長選挙で現市長は選挙公報に「給食費無償化の早期実現!!」と公約しています。これを文字通り実行できるよう求めます。

でも…こんなことが気掛かりです！ 学校給食無償化は本来、国が責任をもって対処すべき課題でないでしょうか

コロナ禍や物価高騰などを受けて、学校の給食を無償化する自治体が相次いでいます。しかし、財源の確保に悩む自治体が多いのも事実です。ただ、トレンドみたい

に選挙公約や人気取りに利用されているとい

う雰囲気も感じないではありません。本当に「子どもの権利保障としての無償化」を考えているのでしょうか。 地方自治体に丸投げになっているために、お金に余裕がある自治体だけが無償化できるという状況が実情で

す。本来は、財政的に安定している国が全国一斉に給食の質やレベルを維持しつつやらないといけないのではないのでしょうか。この問題を『子育て支援の自治体魅力発信競争』に終わらせてはなりません。

柏崎刈羽核燃料移動禁止解除

東電、青森県とむつ市に報告

東京電力ホールディングスは28日、核燃料移動禁止命令が解除された柏崎刈羽原発（新潟県）から使用済み核燃料を搬出する時期を来年3月までに示す方針を明らかにした。搬出先となる中間貯蔵施設（むつ市）を運営するリサイクル燃料貯蔵（RFS、同市）の高橋泰成社長は「24年度上期までは搬入したい」との意向を示した。（岩淵修平）



宮下宗一郎知事（左）に事業見通しを説明する宗一誠常務（右）、高橋泰成社長＝28日、青森県庁

同日は東電の宗一誠常務執行役・青森事業本部長、高橋社長が、青森県と市を訪問し、27日に原子力規制委員会が決定した命令解除と県内関係の事業見通しを報告した。

県庁で宗常務は、搬出計画について「早急に策定に向けた技術的な整理を進め、遅くとも本年度内に示したい」と説明。高橋社長も搬出時期が提示された後、3力年分の貯蔵計画を「速やかに示したい」と述べた。

宮下宗一郎知事は、こうした流れを「安全かつ確実なものとしてほしい」と要請。「今後も私たちが協力していけるよう、信頼の獲得、安全、地域への貢献など皆さんの取り組みを注視する」と強調した。

RFSは8月に規制委の審査が完了し、事業開始時期を「2023年度下期から24年度上期を念頭に準備を進める」と表明。ただ、最初の搬出元となる同原発に出された事実上の運転禁止命令が障壁となり、見通しは不透明だった。

搬出計画と貯蔵計画が示されれば、県、市、事業者の安全協定締結に向けた動きが本格化する。

宮下知事は、全国初の中間貯蔵施設としての特殊性や、最長50年にわたる貯蔵期間の安全性確保を踏まえた内容を盛り込む考えを示した上で「理解促進に向け、県民への説明の機会も設けたい」と語った。

むつ市役所では対応した山本知也市長は「施設の事業開始に当たって非常に重要な要素の一つがなされた」と命令解除を前向きに受け止め、安全協定締結へ協議を加速させる考えを示した。一方、宗常務は東通村役場も訪問し、建設工事が中断している東通原発の状況を説明した。

↑ ↓ 12/29 デーリー東北

再処理整合性「求めない」

むつ市長、受け入れ肯定

むつ市の山本知也市長は28日、同市の使用済み核燃料中間貯蔵施設への受け入れの前提とされてきた再処理事業との整合性について、「中間貯蔵で50年たつたときに稼働している再処理工場に持っていくことになっっている。整合性を求めることに特段意味はない」と述べ、現時点で使用済み核燃料受け入れのネックにはならないとの認識を示した。

市役所で東京電力の宗一誠常務、リサイクル燃料貯蔵（RFS）の高橋泰成社長と面談後、記者団の質問に答えた。山本市長は原子力規制委員会による使用済み核燃料再処理工場（六ヶ所村）の審査が終盤を迎えているとし、「稼働する見込みのある施設」と強調。搬出する予定の施設があれば問題ないとの考えを示した。

宮下宗一郎知事も同日の青森県庁での取材に対し、「時間軸が違ふ事業なので整合性は取れると考えている」と説明した。（工藤文一、岩淵修平）



むつ中間貯蔵施設問題、ここに来て新しい局面を迎えました

東京電力柏崎刈羽原発の核燃料移動禁止処分解除となりました

宮下知事、山本市長とも「再処理工場操業問題と結びつけない」と表明

かねてより、むつ中間貯蔵施設稼働の大前提である柏崎刈羽原発の核燃料移動禁止処分の解除が12月27日に決定しました。

これで当市の中間貯蔵施設への使用済み核燃料の搬出に支障がなくなったとして東京電力は県やむつ市へその報告のため来訪しました。3月末までにはスケジュールが提示できるとしています。

この中で宮下知事、山本市長は搬入と再処理工場の稼働とは連動しないとの考えを示しました。50年間の保管中には何とかなるだろうという根拠のない発想で、ふるさとを最終貯蔵施設にさせてしまう張本人となる可能性は大いにあります。

私たちは粘り強く搬入阻止を叫び続ける必要があります。

防衛省 24 年度予算固まる

計 6 棟の大型弾薬庫や芦崎湾掘削

新年度防衛予算が 22 日公表され、前年を 9 千億円上回る 7.7 兆円となりました。

本県関係では新たに 4 棟の大型弾薬庫、芦崎湾の掘削などが予算化されました。

芦崎湾掘削は大型船舶の停泊を可能にし、大型弾薬庫建設に合わせたイージス艦などの配備が大いに気懸りとなります。

2024年度の 防衛費のポイント

- 過去最大だった23年度当初予算の約6兆8千億円を上回る約7兆7千億円で最終調整
- 反撃能力（敵基地攻撃能力）の手段となる長射程ミサイルの取得費や、次期戦闘機の開発費、イージス・システム搭載艦の建造費を計上
- 陸海空3自衛隊を一元的に指揮する常設組織「統合作戦司令部」を240人規模で東京・市谷に新設
- 画期的な装備品の開発を目指し「防衛イノベーション技術研究所」を創設



海自大湊・芦崎湾掘削工事のイメージ
※防衛省資料を基に本紙作成

掘削範囲

大湊地区の海上自衛隊管理区域

陸奥湾

防衛省は22日公表した2024年度予算案に、海上自衛隊大湊地区（むつ市）の芦崎湾海底掘削工事と、橋改修工事に合わせて約196億円を計上した。また、大型弾薬庫4棟の設計費も

盛った。海自横須賀地方隊（神奈川県横須賀市）への統合が決まっている海自大湊地方隊については、トップとなる「大湊地区総監」の階級を、現在の大湊地方総監と

同じ海将に決定。統合時期は24年度末とし、大湊地方隊から改編する「大湊地区隊」は、大湊地区における後方支援や地元自治体との連絡調整、災害派遣などを担うとした。

芦崎湾掘削に196億円 海自大湊 横須賀統合、24年度末

度に始まり、27年度末の完了を予定している。現在の水深約10メートルから約11メートル下げる計画。栈橋の改修工事は24、25年度の2年間で完了予定。

大型弾薬庫は、地上覆土式の2棟が本年度既に着工済み。25年度までに整備を終える。同省施設設計課によると、24年度に設計する4棟も同じ地上覆土式とするが、着工・整備完了時期については「回答を差し控える」（同課担当者）とした。大湊地区での6棟以外の整備計画は現時点でないという。（本紙取材班）



市民連合が「政策要望」野党 5 会派が合意しました～総選挙での共闘再構築へ

「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」は 7 日、国会内で立憲民主党、共産党、れいわ新選組、社民党、参院会派「沖縄の風」の 5 党派の幹事長・書記局長らに対する政策要望会を開きました。市民連合は左記の 5 項目を次期総選挙に向けた野党の共通政策とするよう要望しました。

立憲民主党の岡田幹事長は「5 項目で野党がしっかりと協力して力合わせができる」「力を合わせて大きな政策転換をめざしていきたい」と発言しました。



市民連合が要望した基本的な共通政策（概要）

① 憲法も国民生活も無視する軍拡は許さない

憲法 9 条の改悪や集団的自衛権の行使・敵基地攻撃能力の保有を容認せず、辺野古新基地建設等基地の強化でなく、基地負担を軽減する。

② 市民の生活を守る経済政策

実質賃金引き上げや格差是正、インボイス制度の廃止、逆進性の強い税制の是正と社会保険料負担の適正化、子ども予算の増額など市民の生活を保障し将来世代へと繋げる政策へと転換する。

③ ジェンダー平等・人権保障の実現

さまざまな場での男女平等の実現をめざし、選択的夫婦別姓制度や同性婚制度などを整備する。あらゆる差別を禁止する。

④ 気候変動対策を強化し、エネルギー転換を推進

原発にも化石燃料にも頼らないエネルギーへの転換を進める。

⑤ 立憲主義に基づく公正で開かれた政治

権力の腐敗私物化に歯止めをかけ、みんなのための政治を取り戻す。解散権の乱用、予備費の膨張と流用は認められない。

万博が地域のインフラ整備にシワ寄せ…これが今の日本の姿…誰のための万博？

すでに9月に新聞報道されているとおり、むつ総合病院の新病棟建設への入札業者が現れず、建設スケジュールにメドが立たない状態となっています。その背景には世界的な半導体不足も挙げられていますが、何といても大手建設業者が国家プロジェクトと称する大阪万博最優先で全国各地のインフラ整備を妨げているというのが最大の要因の用です。入札価格以前の深刻な問題ではないでしょうか。

先の国会質問でも辻本清美参議院議員（立憲）がこの問題を取り上げ莫大な費用と業者を抱え込んで万博に前のめりの政府の対応を糾弾しています。

本当に早急に必要こうした事業や道路整備、橋梁工事などが後回しに追いやられている現状をどう見ればよいのでしょうか。

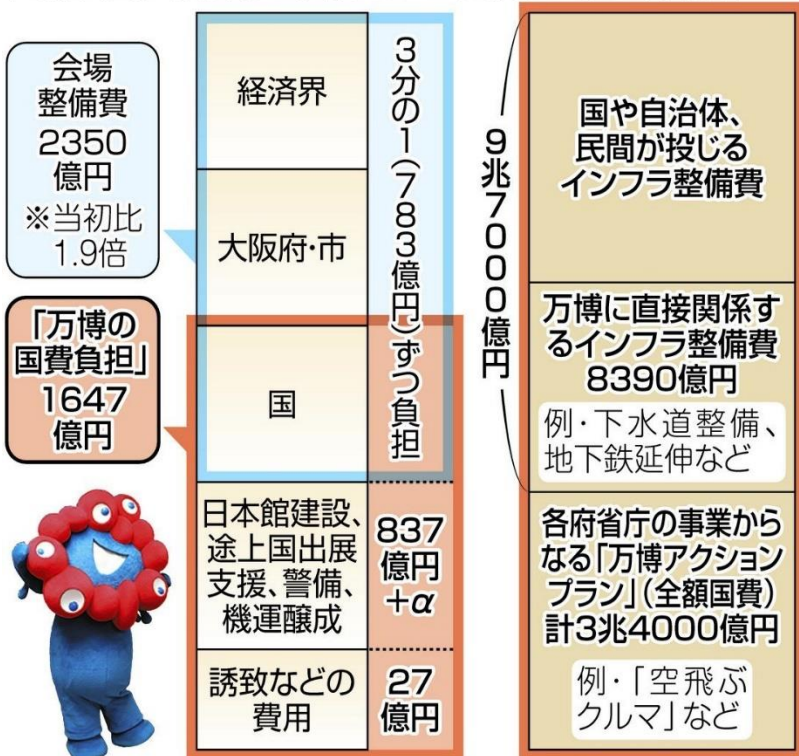
カジノ建設とだっぷり絡んだ大阪万博！ 万博に名を借りたカジノへの膨大な投資事業

大阪万博およびカジノリゾートの会場予定地は隣接して大阪湾に浮かぶ「夢洲（ゆめしま）」という人工島です。ここは本来廃棄物等の最終処分場で、処分地として使用が続けられている土地でした。そのため立地も非常に悪く、大阪市街からのアクセスは不便極まりない位置にあり、市民生活からも観光動線からも大きく外れています。

観光地としては「最悪」と言って過言ではな

い条件のこの土地や周辺道路整備のための膨大な費用を万博開催名目で予算化したのが「維新の会」が牛耳る大阪府政であり、これを後押ししているの自民党政権です。カジノは、射幸心をあおられた客の負け分で成り立っています。賭博に頼った成長戦略が本当に適切なのか、そしてコロナ禍や賄賂リベート疑惑で住民の反発が大きくなり、万博の名を借りた税金の浪費は許されません。

政府が公表した 大阪・関西万博に関連する費用の「全体像」



来年6月ごろに新工程

市役所で開かれた同セッションで、建設業者が「難し」との声が全ター議会議長で報告した。新病棟の工事は今年8月ごろに完了する予定で、来年6月ごろに新たなスケジュールを示す。

むつ総合病院

一部事務組合（北医療センター）管理者の山本知也むつ市長は25日、むつ総合病院の新病棟の供用開始が予定の2027年4月から遅れる見通しを示した。大阪・関西万博など全国的に大型工事が相次ぎ、建設業者が新病棟の建設まで手を回せないのが要因。組合は工期を分けるなど、施工しやすい環境づくりに取り組む考えで、24年6月ごろに新たなスケジュールを示す。

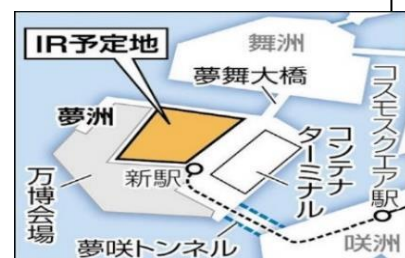
（千藤文一）



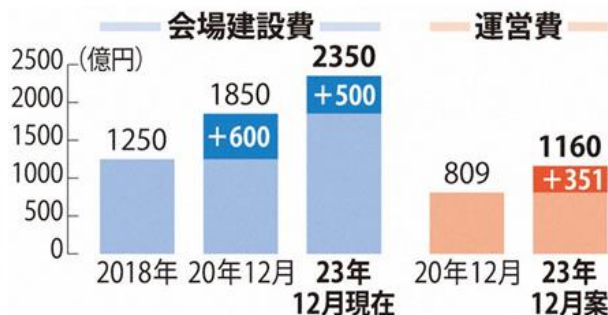
万博工事で業者確保困難

新病棟建設遅れる見込み

むつ総合病院で、予想図（1）の療センター



際限なく増え続ける万博費用



万博事業費の暴走が止まらない！

政府が万博誘致の立候補申請（2017年9月）の際の事業費見込みは2,850億円でした。これが昨年12月案では1,451億円増加しています。さらに当時の申請に含まなかった日本館建設分など事業費を加算すると8,600億円と当初の3倍に増えました。

これで国民負担は一人当たり2,800円、府民負担は9,100円、大阪市民負担は107,000円とのこと。

わが国の民主主義は、民意はこのまま葬り去られるのか！ 辺野古、国が初の代執行 沖縄県に代わり設計変更を承認

福岡高裁那覇支部で12月20日、辺野古新基地建設強行のための「代執行」訴訟の判決が言い渡され、裁判所は国の請求通り沖縄県知事に対し辺野古新基地建設の設計変更の承認を命じました。まさにわが国で高裁判決は、設計変更申請が放置されれば普天間飛行場の危険性の除去が実現されず、公益が侵害されるとして、設計変更申請を承認するよう沖縄県に命じたものです。

沖縄県民は、これまで県民投票や県知事選挙を通じて、一貫して新基地建設反対の意思を示してきました。そして

沖縄県は国に対して話し合いを求めてきましたが、国は県の訴えに向き合わず、代執行訴訟を提訴していました。高裁判決は、「対等・協力」の国と地方の関係をないがしろにし、地方自治権を否定する以外の何物でもありません。このことは沖縄だけの問題にとどまらず、今後は日本の各地でこうした地方自治の侵害が横行するおそれがあります。

そして遂に国は12月28日、新たな区域の埋め立てに必要な設計変更を県に代わって承認する「代執行」を行いました。**国が地方自治体の事務を代執行するのは初めてで、地方自治のあり方が問われる異例の事態となっていました。**これに基づき防衛省沖縄防衛局は本年1月中旬にも、県が認めていない区域で工事を始めるとしています。

沖縄は戦後、米軍基地に絡む事件事故、爆音、環境汚染など、深刻な人権侵害にさいなまれてきました。その上、民意を踏みにじて政府が強行する辺野古新基地建設計画は合理性に乏しい愚策としか言えません。

中国脅威論などを背景に軍備増強に突き進む政府の強硬姿勢は目に余ります。軍備増強の行き着く先を私たちは先の大戦で知っています。歴史に刻まれた代執行の愚行に対し、毅然と民意を示し続けなければなりません。



代執行訴訟の主な争点に対する 沖縄県の主張と裁判所の判断	
・ 県知事の判断を放置すれば著しく公益を害することが明らかと言えるか	
沖縄県	普天間飛行場の危険性除去が公益だという国の主張は抽象的。移設に反対する民意自体が公益として考慮されるべきだ
裁判所	普天間飛行場の危険性は人の生命や身体に大きく関わることに加え、知事が最高裁判決で法令違反との判断を受けた後も放置していることは社会公共の利益を害する
・ 代執行以外に是正を図ることは困難か	
沖縄県	国は2019年6月以降、県からの対話の求めを15回以上無視した。対話による解決の努力を放棄している
裁判所	県が主張する対話は、承認しないことが前提で採用できない。最高裁で敗訴確定後も知事が承認しないため、その意思は明確かつ強固であり是正を図ることは困難
・ 知事の判断は法令に違反するか	
沖縄県	最高裁判決は知事が承認しないことが公有水面埋立法の規定に違反すると認めていない
裁判所	最高裁判決で知事の承認が法令違反と確定し、その後も承認していないため法令に違反する

沖縄基地問題の歴史的経緯	
1945年	沖縄戦、米軍が占領し基地建設始める
52	サンフランシスコ講和条約と日米安保条約が発効。日本は主権回復し、沖縄は切り離される
53	「銃剣とブルドーザー」と呼ばれる米軍の強制土地収用が始まる
72	沖縄、日本復帰。日本国憲法適用。復帰前後、本土の米軍基地は3分の1に縮小し、沖縄に7割が集中する構図となる
95	米兵による少女暴行事件。翌月、抗議の県民総決起大会
96	「一番に守るべき幼い少女の尊厳を守ることができなかったことを心の底からおわびしたい」(大田昌秀知事が県民大会で)
96	日米両政府が5~7年以内の普天間飛行場返還で合意。県内移設が条件に
98	大田昌秀知事が県内移設拒否
99	稲嶺恵一知事が名護市辺野古沖への移設について「軍民共用」や「15年使用期限」の条件つきで容認
2004	「目に見える解決策を提示することが使命。県内移設はベストではないがベターな選択」(稲嶺知事が会見で)
2004	普天間飛行場に隣接する沖縄国際大に米軍ヘリが墜落
06	小泉政権が辺野古沿岸を埋め立てる現行案に米政府と合意。県が求めた「軍民共用」などの条件は立ち消えに
09	「県外移設」を掲げた民主党政権が誕生。翌年断念
12	普天間飛行場に米軍輸送機オスプレイが初配備
13	12月27日、「県外」を公約した仲井真弘多知事が辺野古埋め立てを承認
13	「普天間を5年以内に運用停止するという(安倍)総理の確約を得た」(仲井真知事が会見で)
15	翁長雄志知事が埋め立て承認を取り消し
15	「普天間問題の原点は強制接収されたものだということ。(沖縄が)自ら差し出した基地は一つもない」(翁長知事が会見で)
16	4月、米軍属による女性殺害事件が発生
16	12月、普天間所属のオスプレイが名護市の浅瀬で大破/最高裁で翁長知事の「承認取り消し」は違法とする判決
17	国が辺野古の護岸工事に着手
18	12月、辺野古南側に土砂投入開始
19	1月、政府、地盤改良工事が必要な軟弱地盤の存在認める
19	2月、辺野古埋め立ての賛否を問う県民投票で、反対が7割超
21	11月、玉城デニー知事が防衛省による軟弱地盤対策の設計変更申請を不承認
23	9月、最高裁で玉城知事が承認しないのは違法と判決
23	10月、国が代執行訴訟を起こす
23	「国と県との対話によって解決の道を探ることこそが最善の方法だ」(玉城知事が法廷で)
23	12月、代執行訴訟で県敗訴。国が地方自治体の事務を初めて代執行

サラリーマン川柳 過去 10 年間のベスト 10

サラリーマン川柳とは、第一生命保険の企画コンクールで 1985 年に第一生命の社内報の企画として募集開始され、1987 年から一般公募が始まり、以降毎年募集選考が行われています。2023 年度発表分から、働き方の多様化に加え、老若男女を問わずに幅広い人から募集したいとの第一生命の意向から名称を「サラっとう一句!わたしの川柳コンクール」に改称されています。

年	順	川柳	年	順	川柳
2023	1	また値上げ 節約生活 もう音上げ	2018	1	スポーツジム 車で行って チャリをこぐ
	2	ヤクルト 1000 探し疲れて よく寝れる		2	「ちがうだろ！」妻が言うなら そうだろう
	3	店員が 手とり足とり セルフレジ		3	ノーメイク 会社入れぬ 顔認証
	4	下腹に 脂肪が集合「密ですよ」		4	効率化 進めて気づく 俺が無駄
	5	サイフより スマホ忘れが 致命傷		5	電子化について行けず 紙対応
	6	「キレイです」褒めてくれたの レントゲン		6	「マジですか」上司に使う 丁寧語
	7	パスワード つぶやきながら 入れる父		7	父からは ライン見たかと 電話来る
	8	送料を 無料にするため ムダ使い		8	「言っただろ！」聞いてないけど「すみません」
	9	オミクロン 家族全員 株主に!!		9	減る記憶 それでも増える パスワード
	10	熱が出て はじめて個室 もらう父		10	ほらあれよ 連想ゲームに 花が咲く
2022	1	8 時だよ!! 昔は集合 今閉店	2017	1	ゆとりでしょ? そう言うあなたは バブルでしょ?
	2	ウイルスも 上司の指示も 変異する		2	久しぶり! 聞くに聞けない 君の名は
	3	にこやかに マスクの下で『うっせえわ!』		3	ありのまま スピンみせたら 君の名は
	4	巣ごもりで M から L に 服反応		4	同窓会 みんなニコニコ 名前出ず
	5	マスク顔 確信持てず 見つめ合う		5	「パパお風呂」入れじゃなくて 掃除しろ
	6	マスクとる 緊急事態 ノーメイク		6	君の名は ゆとり世代の 名が読めず
	7	あっ、マスク! 降りた階段 また登り		7	病院で サミットしている 爺 7
	8	恋心 マスク外せば 花と散る		8	ばあちゃんが オシャレにキメる 通院日
	9	デジタル化 しますと紙で 通知する		9	オレのボス ヤフーでググれと 無理を言う
	10	ズーム中 ペット参加で 盛り上がる		10	職場でも 家でもおれは ベコ太郎
2021	1	会社へは 来るなと上司 行けと妻	2016	1	退職金 もらった瞬間 妻ドローン
	2	十万円 見る事もなく 妻のもの		2	じいちゃんが 建てても孫は ばあちゃんち
	3	リモートで 便利な言葉 “聞こえませんか!”		3	キミだけは オレのものだよ マイナンバー
	4	嫁の呼吸 五感で感じる! 全集中!!!		4	娘来て「誰もいないの?」オレいるよ
	5	じいちゃんに J.Y.Park の 場所聞かれ		5	福沢を 崩した途端 去る野口
	6	我が部署は 次世代おらず 5 爺		6	カーナビよ 見放さないで 周辺で
	7	お父さん マスクも会話も よくずれる		7	決めるのは いつも現場に いない人
	8	YOASOBI が 大好きと言い 父あせる		8	妻が見る「きょうの料理」明日もです
	9	お若いと 言われマスクを 外せない		9	ラインより 心に響く 置手紙
	10	抱き上げた 孫が一言 密ですよ		10	愛犬も 家族の番付 知っている
2020	1	我が家では 最強スクラム 妻・娘	2015	1	皮下脂肪 資源にできれば ノーベル賞
	2	パブリカを 食べない我が子が 踊ってる		2	湧きました 妻よりやさしい 風呂の声
	3	話聞け! スマホいじるな!「メモですが」		3	妖怪か ヨー出るヨー出る 妻の愚痴
	4	おじさんは スマホ使えず キャッシュです		4	壁ドンを 妻にやったら 平手打ち
	5	たばこ辞め それでも妻に 煙たがれ		5	記念日に「今日は何の日?」「燃えるゴミ!!!」
	6	足りないの? そもそも無いよ 2000 万		6	増えていく 暗証番号 減る記憶
	7	登録が ストレスだらけの キャッシュレス		7	あゝ定年 これから妻が 我が上司
	8	ジジババも 子育て参加 ワンチーム		8	オレオレと アレアレ増える 高齢化
	9	ギガバイト 時給いくらか 孫に聞く		9	ひどい妻 寝ている俺に ファブリーズ
	10	「早よ、帰れ!」言ってる上司が 帰らない		10	充電器 あつらいいな 人間用
2019	1	五時過ぎた カモンベイベー USA	2014	1	うちの嫁 後ろ姿は フナッシー
	2	いい数字 出るまで測る 血圧計		2	もの忘れ べりな言葉「あれ」と「それ」
	3	メルカリで 妻が売るのは 俺の物		3	妻不機嫌 お米と味噌汁「お・か・ず・な・し」
	4	ノー残業 趣味なし金なし 居場所なし		4	帰宅して うがい手洗い 皿洗い
	5	「やせなさい」腹にしみいる 医者声		5	おもてなし 受けてみたいが あてもなし
	6	やっと縁 切れた上司が 再雇用		6	「イネ」には「どうでもイネ」が 約五割
	7	手紙書き 漢字忘れて スマホ打ち		7	やられたら やり返せるのは ドラマだけ
	8	下腹が 気づかぬ内に ひょっこりはん		8	「オレオレ」に 爺ちゃん一喝「無礼者!」
	9	U・S・A 流行りにのれない まあいっさ		9	いつやるの? 聞けば言い訳 倍返し
	10	叱っても 褒めても返事は「ヤバイッス!」		10	わんこより 安い飯代 ワンコイン



現在の下北はむつ市と下北郡の4つの町村(大間町、佐井村、風間浦村、東通村)で成り立っています。平成の大合併によって平成17年3月に、それまでの川内町大畑町脇野沢村はむつ市に吸収されてしまいました。

「下北」という名称はずっとはるか昔からそう呼ばれていたと、つい私たちは思っていますが、結構新しく明治11年10月に郡制が敷かれてからのことです。それまでは、「陸奥国盛岡領北郡田名部通(むつのくにもりおかりょうきたのこおりたなぶどおり)」でした。明治2年11月からは減藩されていた会津藩が斗南藩としてこの地を領有するので「斗南藩北郡田名部通」です。それもわずか2年弱です。

「北郡(きたのこおり)」とは、現在の下北郡と上北郡です。「田名部通」は今の下北全体を指しましたから、例えば「田名部通佐井湊」「田名部通大平湊」などと呼んでいました。それほど田名部は古くから拓けたところでした。狭い意味での田名部を表す場合は、「田名部の庄」とか「田名部の里」と呼んでいたようです。

江戸時代以前の交通は主に船でしたから、陸地から来れば奥地である「みちのく」も、三方の海から入ることができる田名部通は玄関口でした。

享保6年(1721)田名部七湊の記録では、脇野沢、牛滝、佐井、易国間、大畑、大平、川内の記載があります。西国との玄関口が七つもあったのです。「田名部の庄」への貨物の運搬は大平湊に停泊した北前船から平底の川舟(カンコ舟)に積み替えて田名部川を遡っていきました。替わりに田名部通一円の産物(主に俵物と言われた干鮑、干海鼠、昆布など)の集積地である田名部川大橋の袂から運び出されていきました。特産のヒバ材は切り出した近い湊から運ばれました。

【大湊】

「大湊」という名前は、それまでの北前船の停泊湊である安渡村(あんどむら)と大平村(おおだいらむら)を合併させて長崎のような貿易港にしようという遠大な理想のもとに、斗南藩が名付けたものです。もっとも安渡と大平は仲が悪く、すぐに大平は大湊町から脱退してしまいます。後に町村制が制定されたときに、あらためて城ヶ沢村と大平村を併せて大湊町となっています。私の亡き祖母(母の義母)は明治37年の城ヶ沢生まれですが、大湊のことを言うときには「あんど」と言っていました。



大正時代の大湊（菊池） 棧橋

太平洋戦争の終結直前の大湊町は人で溢れていました。昭和19年末の記録の人口は、82,362人です。内訳は町民が29,512人、大湊警備府が52,850人です。しかしこれには勤労学生や女子挺身隊、朝鮮人は含まれていませんから、実際は優に10万人は超えていたでしょう。現在(平成27年2月末)の旧大湊町の人口は13,430人、むつ市全体の人口でも61,411人です。当時からみると衰退の一途を辿っていると言えます。

斗南藩が明治4年の廃藩置県で解体されてからは、大湊はそれまでと同様の北前船の停泊でしたが、富国強兵策でロシアを仮想敵国としていた明治政府は、芦崎湾に囲まれた天然の良港である大湊に着目し始めました。

明治35年には大湊水雷団が創設されました。対ロシアを牽制するための日英同盟が結ばれた同じ年です。日露戦争は明治37年に始まっていますが、その翌年には大湊要港部に格上げ、さらには昭和16年には大湊警備府に改編・拡充されています。

戦争の戦況がいよいよ芳しくなくなってきた昭和19年になって、軍は本土決戦に備えてそれぞれ自活自戦の態勢をとることとし、大湊警備府も重要拠点として3ヶ月の籠城に耐えられるよう日本各地から、武器、弾薬、衣類、食料など陸と海から大量の物資を釜臥山中腹に穴を掘って貯蔵しました。終戦の後、軍はこの軍需物資を早く民需に振り向け今後の日本の再建に少しでも役立てようと放出することにしました。軍需物資を放出するから大湊に来るよという通達が下北全域の市町村に出されたので、8月の暑いさ中、この軍需物資の払い下げを受けようと、田名部・金谷の街道はトラック、荷車、馬車などで連日長蛇の列となりました。あまりの混雑ぶりに8月22日には放出を中止してしまいました。中には目端のきく者もいて、この軍需物資の放出と敗戦のどさくさにまぎれて物資を横領隠匿する輩もいました。私の中学の同級生の父親も軍需部のトラック運送係で、隠匿物資を資金にして事業に成功し、田名部町町会議員にまでなりました。

太平洋戦争最末期の昭和20年8月9日には、大湊湾にアメリカ軍のグラマン機が急襲し、巡洋艦「常盤」や駆逐艦「柳」が大破し、何と129人もの戦死者を出しました。

遺体は防備隊の正門前の広場と菊池棧橋付近に運ばれましたが、辺り一面に死臭が漂いました。翌日まで続いていた空襲の合間をぬって大湊上町の常楽寺までトラックで運び、裏山に豪を掘り遺体の上に重油を注ぎ野焼きしました。もううたる煙と死臭が大湊全町に広がりました。常楽寺では僧侶も出征して不在だったので、「常盤」の軍医長医大尉織田五二七さんが子どものころ覚えたとのお経を唱えて供養したと記されています。

この戦死者の慰霊碑「海軍戦傷病没者留魂の碑」は、昭和27年12月1日に落慶法要が営まれ、今も常楽寺本堂横にひっそりと建っています。

この文章は寺島豊美氏の「下北の昔あれこれ」から抜粋しました。